



石川町第5次総合計画

2009-2018 (平成21年度~30年度)

「まちづくり懇談会」資料 (8月20日~28日)

1 計画策定にあたって

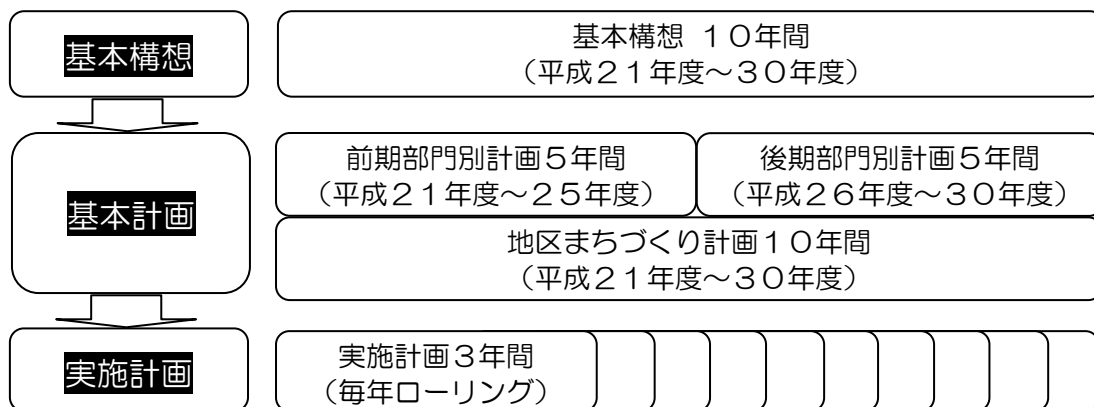
これからのまちづくりは、町民の参画と協働が必要不可欠な要素であり、町民と行政の新たなパートナーシップを確立し、総合計画を町民全体の共通目標とすることが必要です。

石川町第5次総合計画は、今後の石川町が進むべき方向性をより明確にするために、地域活性化策や産業振興などの課題を総合的に捉えながら、「協働」と「循環」を基本テーマとし、女性・若者まちづくり委員会の提言、町民アンケート結果などを反映させ、町民の主体的なまちづくりと町の施策が効果的に作用する総合行政をめざすものです。

2 計画の期間及び構成

第5次総合計画の期間は、平成21年度から平成30年度までの10年間です。

第5次総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。



- ・基本構想—本町の将来の姿を描き、それを達成するために必要なまちづくりの方向や基本的な施策を明らかにするものです。
- ・基本計画—基本構想に描かれた将来像を実現するための施策などを総合的、体系的に組み立てたもので、「地区まちづくり計画」を含めた6つの「部門別計画」により構成します。
- ・実施計画—基本計画で定められた施策を実施するために、財政状況や社会情勢を考慮して策定するものです。概ね3年間で実施する事業の内容を明らかにする短期計画です。

3 第5次総合計画のポイント

- ① **地区まちづくり計画**—6地区の特性を活かし、地域の皆さんの自主性による地域のための計画です。
- ② **数値目標**—基本計画の各施策に、目標を設定することにより、施策の進捗状況を分かりやすくします。
- ③ **まちづくりプロジェクト**—早期の取り組みや成果向上が求められる事業をまちづくりプロジェクトとして位置付け、施策を展開します。

4 まちづくりの基本目標

まちづくりのキーワード

・「ひと」を活かします。

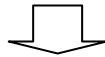
町民が自らの地域の活性化策や問題解決策を考え実践していくこと、そして行政は、この地域活動を尊重し、支援していく、このような姿こそがまちづくりの理想像と考えます。町民が主人公となったまちづくりを進めます。

・「とき」を活かします。

町を知り、学ぶことは、町を、地域を愛する想いが深まるものと考えます。町や地域が持つ歴史、伝統、文化などを大切にしながら、町を愛し、誇ることでできるまちづくりを進めます。

・「もの」を活かします。

森林、農地、景観など、各地域には気候風土に根ざした固有の資源があり、それを活かすことが、まちづくりの第一歩であると考えます。まちや地域が持つ自然や産業などの個性を活かしながら、活力のあるまちづくりを進めます。

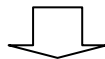


まちづくりの将来像

これからの石川町が夢と希望に満ち発展していくことをめざして

「みんなが主役 協働と循環のまち」

を石川町の将来像とします。



6つの基本目標と5つのプロジェクト

○ 6つの基本目標

- I にぎわいと活気のあるまち（産業）
- II 健やかで人にやさしいまち（保健・福祉・医療）
- III 豊かな心と文化を育むまち（教育・文化・スポーツ）
- IV 安全・安心で快適なまち（生活・環境）
- V とともに力を合わせてつくるまち（地域自治）
- VI 町民の信頼に応えるまち（町民・行政）



○ 5つのプロジェクト

- ・ 人と森と土をつくるプロジェクト
- ・ ORAHOおらほのまちづくりプロジェクト
- ・ 子育て夢プロジェクト
- ・ ふるさといしかわ人づくりプロジェクト
- ・ さくらの郷づくりプロジェクト

5 6つの基本目標

将来像として掲げた「みんなが主役 協働と循環のまち」の実現に向けて、次の6つを基本目標とします。

基本目標 I **にぎわいと活気のあるまち（産業）**

多様な資源を活かした産業の振興、企業誘致や既存企業の育成による就労の場の確保を進め、町民がにぎわいを感じることができる産業の育成をめざします。

- ・農林業の振興 ・商業の振興 ・企業の振興 ・観光の振興

基本目標 II **健やかで人にやさしいまち（保健・福祉・医療）**

家庭・地域・行政が一体となり、安心して暮らせる福祉の充実・子育て環境等の向上をめざします。また、医療機関等との連携体制を強化し、地域医療の充実を図ります。

- ・地域福祉の推進 ・児童福祉の充実 ・障がい者福祉の充実 ・高齢者福祉の充実
- ・人権尊重、男女共同参画の推進 ・保健、医療の充実 ・保険制度の充実

基本目標 III **豊かな心と文化を育むまち（教育・文化・スポーツ）**

歴史、文化、自然などに触れ、親しみ、生涯を通じて学び、新しい時代や社会の変化の中で創造性を発揮して、心豊かに生きていくことができる人材の育成を図ります。

- ・生涯学習の充実 ・青少年の健全育成 ・学校教育の充実
- ・文化の振興と文化遺産保存、活用 ・町史編纂事業の推進

基本目標 IV **安全・安心で快適なまち（生活・環境）**

豊かな自然と共存し、町民が住みたい、住み続けたいと感じることのできる生活環境づくりをめざすとともに、人と人とのふれあいと交流の環が広がる安全・安心な空間づくりを進めます。

- ・資源循環の推進 ・土地利用の推進 ・消防、防災対策の充実
- ・交通安全、防犯対策の充実 ・公共交通機関の充実 ・生活道路の充実
- ・河川環境整備の推進 ・町営住宅の充実 ・上水道の整備

基本目標 V **ともに力を合わせてつくるまち（地域自治）**

「地域の宝」を活かした「地区まちづくり計画」を基本に、町民と行政がそれぞれの立場で役割と責任を担い、郷土への愛着や誇りを実感できる地域づくりを進めます。

- ・石川地区まちづくり計画 ・沢田地区まちづくり計画 ・山橋地区まちづくり計画
- ・中谷地区まちづくり計画 ・母畑地区まちづくり計画 ・野木沢地区まちづくり計画

基本目標 VI **町民の信頼に応えるまち（町民・行政）**

限られた財源を有効に活用し、効率的な行財政運営を行うとともに、町がそして町職員が町民の視点に立ち、町民に信頼される質の高い行財政運営を行い、町民が主役のまちづくりを進めます。

- ・情報化の推進 ・町民参加の推進 ・効率的な行財政の運営 ・広域行政、地方分権の推進

6 5つのまちづくりプロジェクト

「みんなが主役 協働と循環のまち」を将来像としたまちづくりを進める上で、早期の取り組みや成果向上が求められる事業は、「まちづくりプロジェクト」として位置づけ「ひと」「とき」「もの」を活かした施策を展開していきます。

● 人と森と土をつくるプロジェクト

石川町の資源であり魅力である「自然」を活かすことが大切です。

このプロジェクトでは、「人・森・土をつくる」ことを主眼に、有機物資源の活用と循環型システムの構築により、良い堆肥をつくり、その堆肥により良い土をつくり、その土により安全でおいしい作物を育て、その作物を食し健康な体をつくる。このように、土と食物と命の有機的な結び付きによる、地域連携機能の充実や高齢者の生きがいづくりを創造する施策を進めます。

● お ら ほ ORAHOのまちづくりプロジェクト

本プロジェクトは、住民による主体的なまちづくりを推進するため、平成19年度に策定した「地区まちづくり計画」の実行組織など、地域自治の仕組みを構築するとともに、持続可能な地域自治制度の確立を目指し取り組みます。

● 子育て夢プロジェクト

子どもが「夢」を持ち、子育てに「夢」が持てるみんなで支える社会づくりの理念のもとに、町や地域における様々な育児支援策の検討や企業における子育てに理解のある雇用環境づくり、男性の育児参加等に重点的に取り組むほか、次代の親づくりの視点を取り入れ、子育て・子育て環境づくりを推進します。

● ふるさといしかわ人づくりプロジェクト

子どもたちが「いしかわ」を愛し、未来に夢を持って生き抜く真の学びの育成を目指します。そのため、多様な活動が可能な学校教育環境を整備するとともに、町内の小学校・中学校・高等学校における、児童・生徒間交流等を中心とする連携教育を推進していきます。

さらに、学校教育と生涯学習の融合を図り、地域間、世代間交流等の場として、学校施設を整備し、活用できるよう進めます。

● さくらの郷づくりプロジェクト

今出川、北須川沿いに連なる千数百本のさくら並木、地域に美しい花を咲かせる一本さくらなど本町のさくらは、町民の誇りであるとともに憩いと安らぎを与えてくれる大切な宝です。

このさくらを有効に活かしたプロジェクトを町民と共に取り組み、人が、まちが、そして地域が元気になる施策を進めます。

これからの石川町のまちづくりを進める上で大切なことは、町民の皆さんと行政が一緒になって第5次総合計画に基づいた施策を一緒に実践していくことです。よりよい石川町をつかっていくために、そして地域をつかっていくために、多くの皆さんのご協力をお願いいたします。

